

平成17年度 天竜川水系 梶谷第4砂防堰堤工事用道路橋梁上部工工事

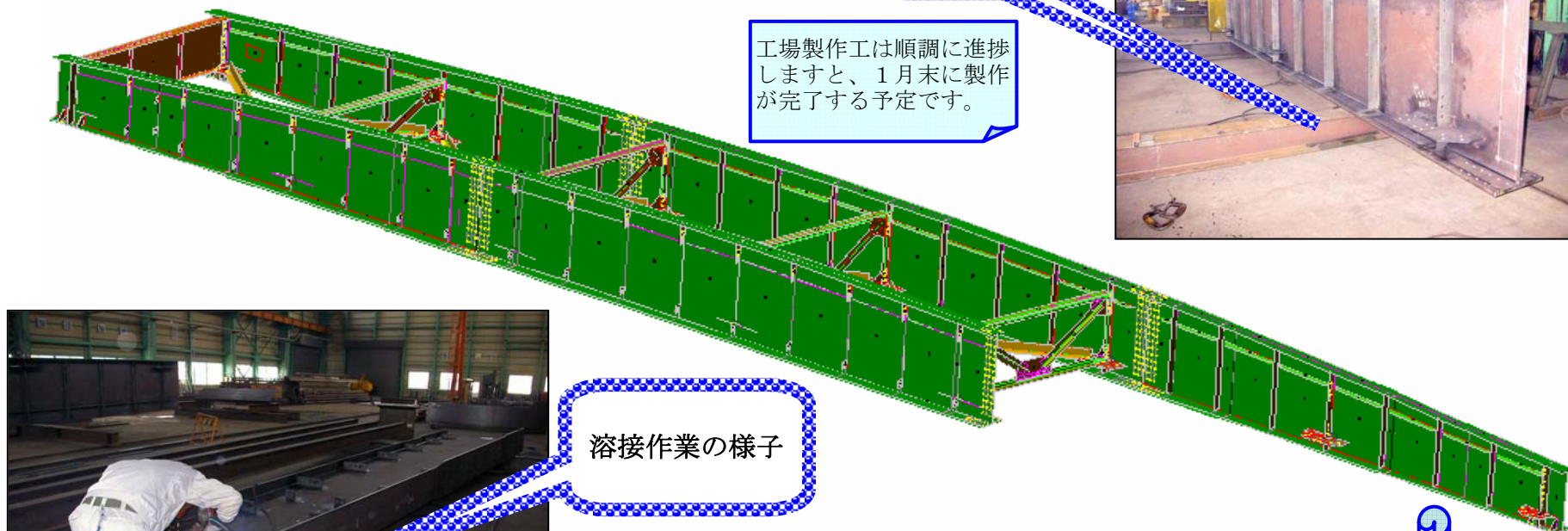
工期：平成17年9月28日～平成18年3月10日

## ◆ 橋桁工場製作 フル稼働中 !! ◆

主桁製作状況



工場製作工は順調に進捗しますと、1月末に製作が完了する予定です。



溶接作業の様子



### ◎工事概要◎

本工事は、飯田市南信濃八重河内地先に建設予定の梶谷第4砂防堰堤工事に伴う工事用道路の橋梁新設工事です。  
工事内容：単純合成鋼桁橋  
(耐候性鋼材使用：塗装の必要がない鋼製の橋梁です。)  
橋長 L=26.5m 有効幅員 W=4.0m 鋼重 16.2 t



## ☆☆ 信州・遠山郷の霜月まつり ☆☆

遠山の里に古くから伝わる霜月まつりは、旧暦の霜月（11月）に煮えたぎる湯を素手ではねのけ、邪悪を追い払い、魂の再生を願う行方両部神道の「湯立て神事」で、全国の八百万の神々に”お湯に入りにいっちゃい”と招待するお祭りであり、ほぼ原形のままで伝承されていると言われています。両部神道とは、平安時代末に真言密教での金剛界と胎藏界の仏を神道の神々にたとえて神仏習合させた神道であるといわれています。したがって、祭りは密教、修験道、陰陽道の要素を多分に含んでおり、遠山郷の霜月まつりは、伊勢神宮の湯立てと遠山氏への御霊信仰が合わさって伝えられたものらしく、昭和54年2月3日、文化庁の重要無形民俗文化財に指定されました。また、宮崎アニメ「千と千尋の神隠し」のアイデアとなったとも言われています。このような伝統ある霜月まつりが、今年も12月1日の木沢地区・中立稻荷神社から始まり、和田地区へと祭りは移動し、23日の大町（和田）の遠山天満宮の祭りで終わりました。遠山の霜月まつりは、使用される面の構成から、南信濃で2タイプ、上で2タイプ、合計大きく分けて四つのタイプに分けられるようですが、それぞれの神社で少しずつ儀式や登場するお面が異なり、それぞれに特徴があるようです。

### 《平成17年 霜月まつりの神社と日程》

#### 【南信濃】

12月 1日	中立	稻荷神社
12月 3日	上島	白山神社
12月 4日	小道木	熊野神社
12月10日	木沢	正八幡神社
12月13日	和田	諏訪神社
12月15日	尾野島	正八幡神社
12月23日	大町	遠山天満宮

#### 【上】

12月 3日	中郷	八幡神社
12月11日	上町	八幡神社
12月13日	下栗	拾五社大明神
12月14日	程野	八幡神社

◆遠山川砂防出張所の安藤技術係長(写真 左)・川口事務係長(写真 中)・生駒技官(写真 右)が、神の面を着けて舞に参加しました。(12月13日 南信濃和田の諏訪神社にて(写真 左上))



請負者 綿半インテック株式会社  
監理技術者  
兼現場代理人 伊東 和彦